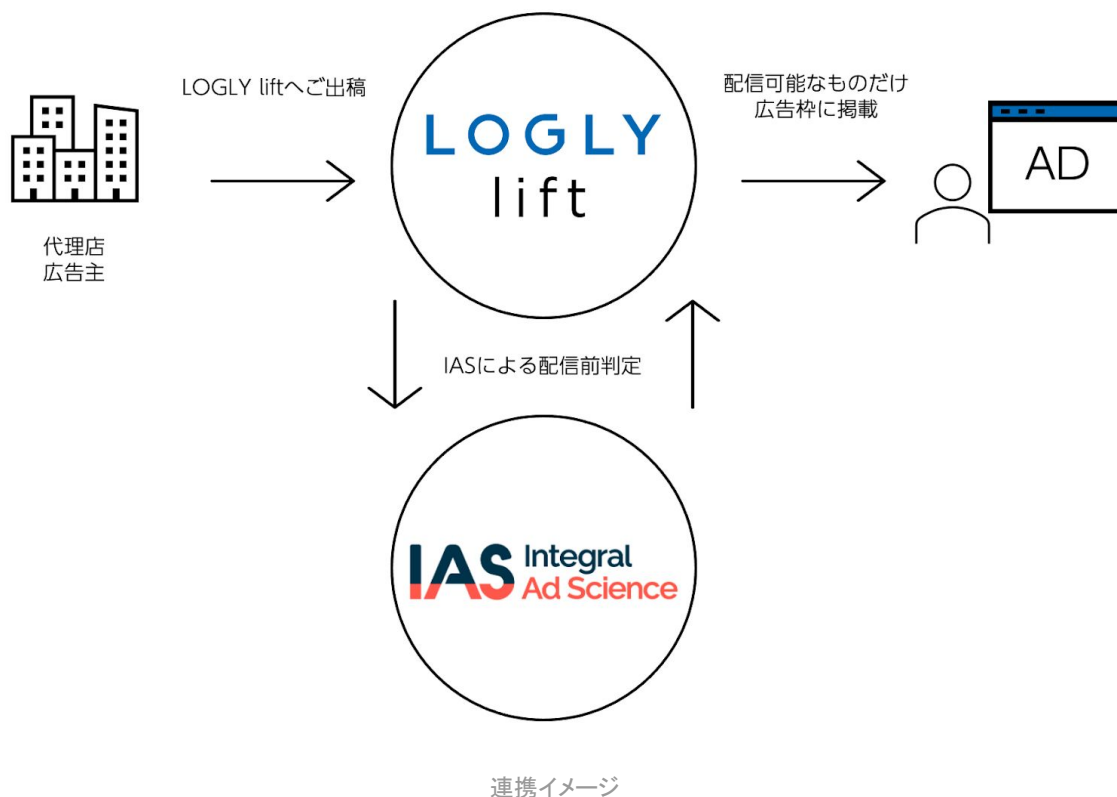


ログリー、さらなるブランドセーフティ強化に向け Integral Ad Scienceとの連携を開始

ログリー株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役:吉永浩和、証券コード:6579、以下、ログリー)は、ネイティブ広告プラットフォーム「LOGLY lift」(*1)において広告主のブランドセーフティ強化を目的として、Integral Ad Science Japan(インテグラルアドサイエンス、本社:米国ニューヨーク、CEO:リサ・アッツシュナイダー / 日本オフィス:東京都千代田区、以下 IAS)との連携を開始しました。



昨今、ブランディングを目的とした広告出稿においては、ブランドセーフティやビューアビリティ、またアドフラウドに対する取り締まり強化など、いわゆるアドベリフィケーション(*2)対応が必須のものとなりつつあります。特に広告主にとって適切でないサイト、ページへの広告配信は、ブランドイメージが毀損されるリスクを負うこととなり、避けるべき事象となりま



す。また、botなどを用いた不正行為によって表示される広告は、広告主にとって無駄なコスト負担の増加となり、媒体社においても広告枠の収益性低下につながりかねません。

ログリーは、これまでアドフraud対策ツールの導入や第三者計測ツールの受け入れによるブランドセーフティに取り組んでまいりました。今回、さらなるブランドセーフティ強化に向けアドベリフィケーション事業のグローバルマーケットを牽引するIASと連携し、広告主の要請に応じてブランド毀損、ビューアビリティ、アドフraudの各リスクに配慮した広告配信を行うことが可能となりました。IASのPreBid(*3)ソリューションを用いることで、LOGLY liftでは広告配信前に広告配信面を解析・分析し、条件に合致した配信面のみ広告掲載ができるようになります。

ログリーは、今後も広告主と媒体社双方にとって、安全性および品質が高く、有益な広告配信環境の提供を進めてまいります。

■用語説明

*1 LOGLY lift(ログリーリフト)

ログリーは、これまで Recommend ウィジェット型のネイティブ広告を中心に事業を展開してまいりました。出版社や新聞社、ポータルサイトなど月間200億インプレッションを超える数多くのプレミアム媒体に参画いただき、広告主に対しては閲覧機会の高い広告枠を提供し、媒体主に対しては Recommend エンジンによる読者のエンゲージメント向上と収益の最大化を進めてまいりました。2019年3月より「LOGLY lift Video」として動画フォーマットによる広告ソリューションの提供を開始し順調に事業規模を拡大しております。

*2 アドベリフィケーション

広告主のブランド価値を保護し、ユーザーが認識できる場所に広告が掲載されるよう配信をコントロールする、広告価値毀損測定の仕事です。

*3 PreBid方式

入札後の広告表示時に配信面の品質判定を行うのではなく、広告入札前に品質判定を行い、入札の可否を判断する仕組みです。リスクの高い配信面には入札を実施しないため、広告費の無駄を防ぐことができます。



【ログリー株式会社について】

会社名: ログリー株式会社 (東証マザーズ: 証券コード6579)

代表者: 代表取締役社長 吉永 浩和

本社所在地: 東京都渋谷区道玄坂1-16-3 渋谷センタープレイス2F

事業内容: メディアテクノロジー事業、アドテクノロジー事業、データマーケティング事業

URL: <https://corp.logly.co.jp/>

【Integral Ad Science 社について】

会社名: Integral Ad Science, Inc.

代表者: リサ・アツシュナイダーCEO

本社所在地: 95 Morton Street, 8th floor, New York, NY 10014

日本オフィス: 東京都千代田区有楽町1-1-2 日比谷三井タワー12F

事業内容: デジタル広告の検証・不正対策・最適化のためのデータとソリューションの開発と提供

URL: <https://integralads.com/jp/>

■問い合わせ先

担当: lift事業部

URL: <https://corp.logly.co.jp/contact>

■報道関係者からの問い合わせ先

広報担当: 木内

mail: pr@logly.co.jp